

王滝村地域おこし協力隊 協力隊だより

令和7年3月



泉 由希子

(令和5年度採用)

支援企業
株式会社シン

こんにちは、泉です。寒さ厳しい冬でしたが、春の訪れを感じることも多くなりました。天気の良い日には、小鳥たちの話し声が聞こえ、鳥見の忙しい季節もう目前です。この冬も、御嶽スキー場でパトロール隊員として働いています。あっという間にスキー場の営業も残すところ数日となり、刺激的な毎日により時が経つのが早いように感じます。今回はパトロールの仕事についてお話しします。

パトロールの一日はリフト運行1時間前に出発する始業点検から始まります。コース状況の確認、注意喚起の看板設置などをします。気候を観測するのも大切な仕事で、一日も同じ景色がないと実感します。

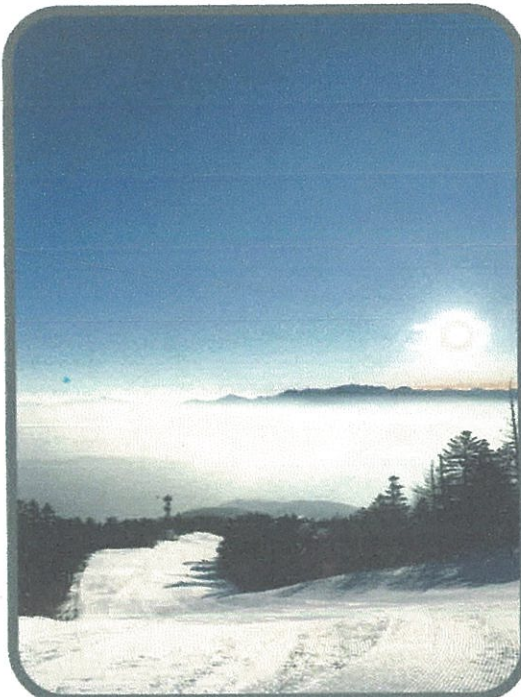
営業中はコース巡回をして、危険箇所の発生がないかなどの確認や、マット、ロープ、ネットなどが適切に設置されているかの確認・補修をします。また、怪我人や体調不良者が発生した場合には搬送や応急手当をします。

どんな状況の雪上も滑走することが出来る滑走技術や、傷病者に安心感を与えることの出来る応急手当の知識や技術が必要で、日頃の訓練がとても重要であると感じています。

また、おんたけパトロールの重要な業務の一つに、田の原での監視業務があります。御嶽山への入山者がいないか、規制のネットや入山禁止の看板が適正に設置されているかの確認をします。1月16日に噴火警戒レベルが2に上がった際は、役場からの指示があり、その旨を記載した警告看板の設置に対応しました。

リフトが終了したら、山頂から山麓まで、スキーヤー・スノーボーダーが取り残されていないかなど安全確認しながら最終点検を行います。無事に山麓に到着し、事務所にコース内クリアの旨報告した後、ようやく緊張感から解放されます。

御嶽山を臨める絶景、解放感のある広々としたコースに魅了されて御嶽スキー場にお越しください。お客様は多いと思います。そんなスキー場の魅力をお客様に堪能していただけるよう、どのお客様も安全に楽しめるスキー場を目指して管理することとは、王滝村・御嶽山の魅力発信に繋がる重要な



役目であると感じています。貴重な経験をさせていただいていることに感謝をし、日々誠実に業務にあたっていきたいと思っています。



高橋 卓也

(令和4年度採用)

活動拠点

王滝村観光案内所

【まほろば珈琲へようこそそのお時間】

・木曽地域タウンミーティング

・カンタティモール上映会

こんにちは！【まほろば珈琲へようこそそのお時間】です。今回も毎週木曜日に開催しているまほろば珈琲で起こった出来事やその感想などを楽しくお伝えしていきます！

それでは一つ目の『木曽地域タウンミーティング』です。木曽地域タウンミーティングとはボランティア団体や地域で活動されているみなさんが出店形式で活動を紹介するイベントで、楽しい交流を通じて自分発見をしたり、新たな出会いを見つけることができます。このイベントではまほろば珈琲の活動をご紹介させていただき、実際に珈琲を提供させていただくことができました。王滝村の地域おこし協力隊として普段の活動を知っていただく機会を得ることができ、このイベントをきっかけに後日、コミュニティールームへ来てくれる方々がいらっしました。自身の活動だけではなく各地域の方々が様々な活動で地域を盛り上げていることを再認識し、普段気付けなかったことや今後に活かせるようなヒントが貰えたので参加できたことにとっても感謝しました！

二つ目の『カンタティモール上映会』では王滝公民館で東ティモールのドキュメンタリー映画が上映されました。日本人女性監督が人々の暮らしの中で現地語を学び、彼らの歌に隠された本当の意味に触れ、殆ど報道されなかった東ティモールの闘いをとりあげた物語です。こちらの上映会で東ティモール珈琲の余韻とともに鑑賞していただけるようにまほろば珈琲を出店いたしました。上映前後に本場に沢山の方が来てくれたので上映会の感想などを聞きましたところ、東ティモールに興味を持たれた方や、現地の人々が力強く生き抜いてきたことに感激されている方、また過去の上映会ではこの映画がきっかけで東ティモールの珈琲豆だけを取り扱うお店を起業した方もいるそうです！それ程までに観る者の胸をそっと貫き、決して消えない余韻となっているのでしょね。

最後に、今月号の協力隊便りをもって私の記事の掲載は終了しますと共に王滝村地域おこし協力隊も卒隊致します。三年間沢山の想い出と、皆様との繋がりが持てましたことを感謝申し上げます。お陰様で三年前の今よりも更に王滝村のことが好きになりました。ここまで支えてくださった方々、本当に本当にありがとうございます！！



近藤太郎
(令和4年度採用)
支援企業
合同会社Rext滝越

いつもお世話になっております。今月の協力隊だよりが僕の最後の活動報告となります。まず村について何も知らない若者を受け入れてくれた村の方々ありがとうございました。皆さんの温かい見守りがなければ僕の活動は出来なかったと思います。本当にありがとうございます。今回は3年間の振り返りとして報告したいと思っています。

協力隊に着任した際に3つの目標を持ちました。1つ目は王滝村で暮らし沢山の人と交流し、村について学ぶ事。2つ目は牧尾ダムから繋がる流域を草の根で繋ぐ事、3つ目は自身が学んできた「アート」で暮らしを豊かにするお手伝いをする事。

具体的には村民が開催するイベントに参加し、また時には主催メンバーとして運営や企画に参加させてもらいました。村民運動会やお盆

ふれあい祭り、おんたけ湖ハーフマラソンなど色々に関わり、そんな中で沢山の村の方々を知り合うことが出来たと思います。また支援起業である合同会社Rext滝越の倉橋さんや杉野さんからも協力隊また村への移住者の先輩として暮らしや仕事についてのアドバイスをたくさん頂きました。

↓初めてのお盆ふれあい祭り
盆踊り復活のミッションを掲げ村のおじいちゃん・おばあちゃんに教えてもらった。あの時はありがとうございました！
また今年も一緒にやりましょう！



↓七輪で南知多町の干物を焼く会
長野県立大学生と一緒に企画！村の皆さんにたくさん来てもらいました。ありがとうございました！



Restは大学生や海外の方、様々な来訪者が訪れる場所で、その人たちと村内を巡ったり、また話す事でより深く村について考えたり、学ぶことも出来たと思います。

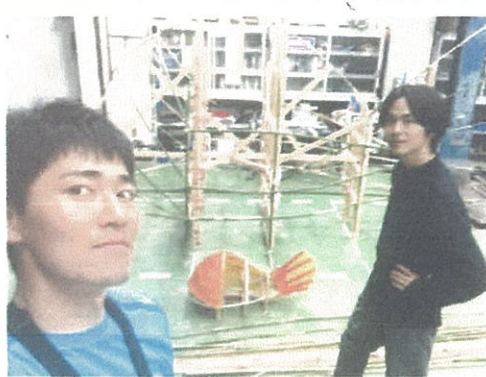
↓ 合同会社Rext滝越にインターンに来た京都芸大の学生さんや常八に宿泊や居候していた若者たち



また流域での活動は南知多町の鯛神輿づくりから始まり、沢山の友人や繋がりを作ることが出来ました。特に名古屋大学文化人類学とは授業をしに行ったり、また学生が王滝村を訪れフィールドワークをしてくれたりとお互いに行き合う繋がりができました。

← 高橋くんと南知多町で鯛神輿作り！

↓ 南知多から持ってきた鯛神輿を御嶽神社まで小学校のみんなと運んだ！



← 南知多で鯛神輿の作り方を教えてくれた地元の方々

↓ 木曾踊りを村のおじいちゃん・おばあちゃんから学ぶ名古屋大学生

↓ 村をフィールドワークをする名古屋大生



↓南知多町から鯛祭りの際に歌う

尹勢音頭を披露しに地元の方が来てくれました。



↓王滝村の山と湖の風景をバックに
流域をテーマにした公演は大成功！



ここには書き切れないほど他にも沢山の事があ
りました。こんな風に3年間はあっという間
に過ぎてしまいました。王滝村地域おこし協力
隊として活動してきて思った事は王滝村では多
種多様な人が居合わせ、語り、またそれぞれの
場所に帰っていく、そんな交差を生み出す場所
であるということ。そしてそこの日々（暮ら
しや観光）は訪れた人たちの日常に隙間を作り
違ふ世界を広げてくれる場所であるということ
です。僕は協力隊として村民と来訪者の「中
間」部分の繋ぎとして役目を担い、それを感じ
るようになりました。これからもそんな村の魅
力を外に発信していけたらと思います。

4月1日からは支援起業であった合同会社
Beet滝越に就職し、暮らし続けていく予定で
す。また流域の活動も「流粋暮らしネットワーク」
というチームプロジェクトで継続していき
ます。夏にはまた名古屋大学生がフィールドワ
ークに訪れアーティストも4名来る予定です。
協力隊は卒業ですが、これからもよろしくお願
いいたします。

↓私道かびさん脚本による演劇

「きそ、ちた、あいちー流域めぐる水のうた」

演じるのは俳優の沢柳優大さん



アートの活動は僕が何か作品を作るというよ
りも、外のアーティストに村に滞在してもらい
作品制作やワークショップを開催するなど、企
画する活動が主になりました。アートというも
の自体よりもアーティストという存在が村に訪
れ、村民と話したり、たまたまそこに居合わせ
た学生と話したり、そんな出会いとそこから生
まれる空間が豊かであったと思います。

↓アーティストAnne Goeselさん

による水性木版画教室

小学校コミュニティルームにて



↓3年間ありがとうございました！
これからもよろしくお願いいたします。



↓村民と大学生で麻雀対決！



↓王滝村に来てテンションが上がる
長野県立大学生たち

